

令和6年10月7日

まちづくり委員会資料

南武線登戸・中野島間こ線道路橋 上部工架替
え工事 に関する施行協定の変更について

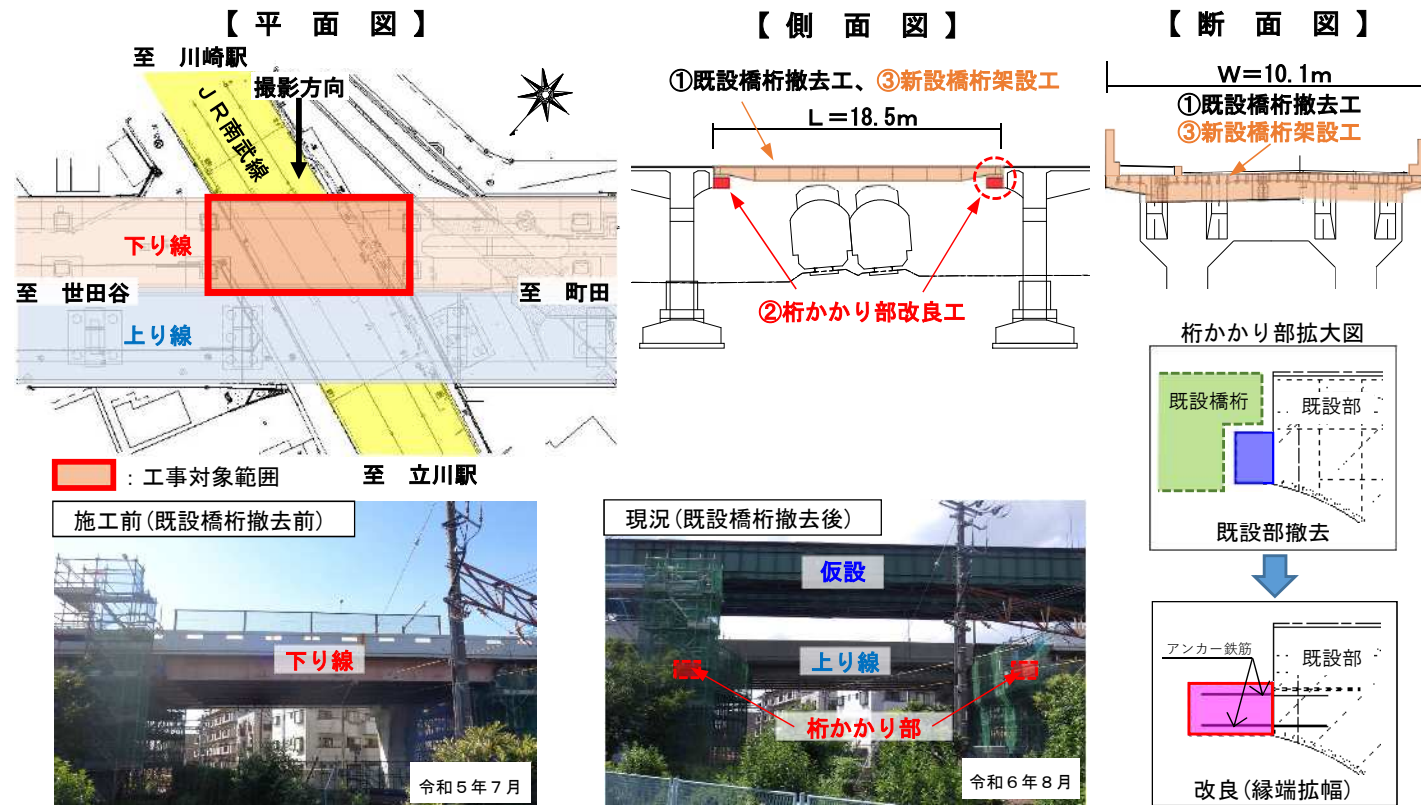
建設緑政局

南武線登戸・中野島間こ線道路橋上部工架替え工事に関する施行協定の変更について

1 協定内容及び工事の概要

- **協定内容**
 - ・名称：南武線登戸・中野島間こ線道路橋上部工架替え工事に関する施行協定
 - ・相手方：東日本旅客鉄道株式会社 ・期間：令和4年8月5日～令和7年3月31日 ・金額：1,500,036千円
- **工事の概要**
 - ・施工内容：都市計画道路世田谷町田線の登戸陸橋下り線のうちJR南武線こ線部の橋桁の架替え
 - ・延長：L=18.5m ・幅員：W=10.1m ※登戸陸橋の諸元 橋長：L=435.6m、標準幅員：W=10.1m
- **現在の状況**

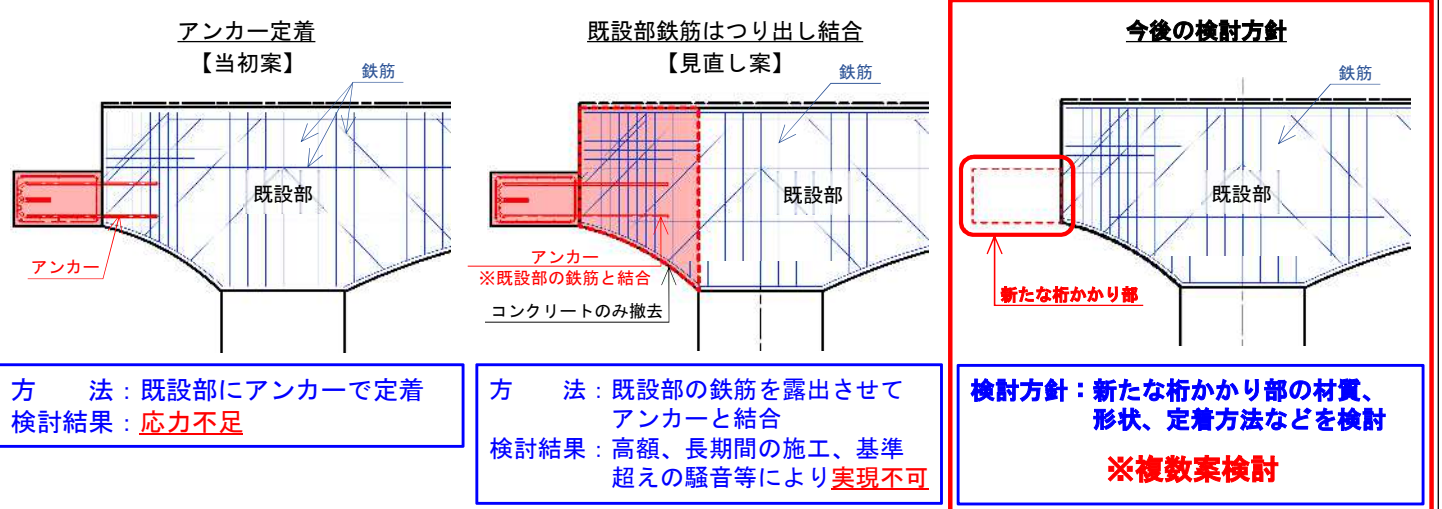
工事箇所	主な工種	工事内容	備考
上部構造	①既設橋桁撤去工	JR南武線上部の既設橋桁を撤去	令和5年12月15日撤去済
下部構造	②桁かかり部改良工	既設部にアンカー鉄筋を設置して桁かかり部改良(縁端拡幅)	既設部(桁かかり部)撤去済
上部構造	③新設橋桁架設工	縁端拡幅部に新たな支承を設置し、新設橋桁を架設など	新設橋桁組立(地組)済



3 桁かかり部の検討と課題

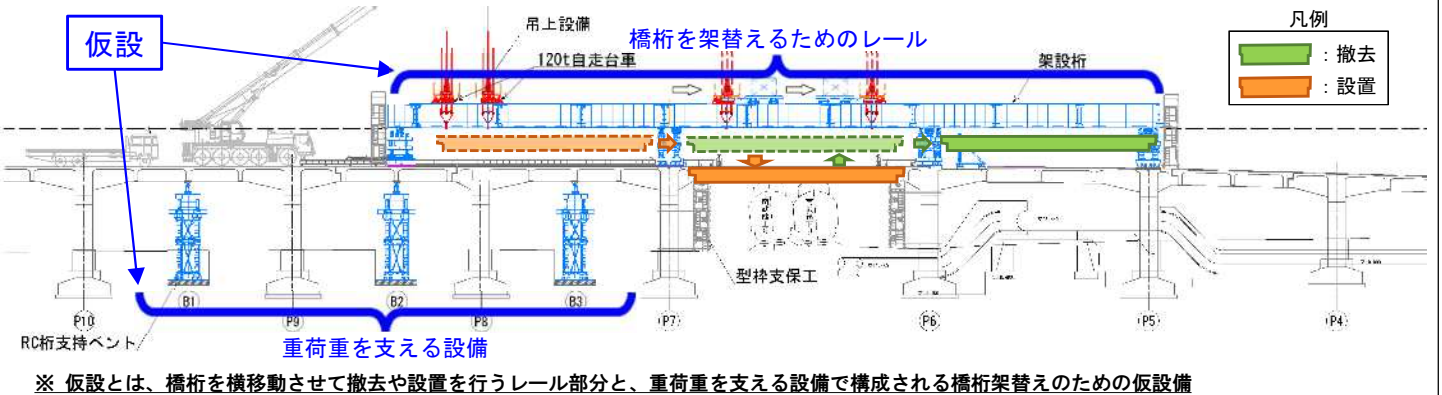
(1) 桁かかり部の検討状況

- **桁かかり部の形状変更や鉄筋の定着方法の見直しを行ったが、いずれも実現性が低い**
- ➔ **施工可能な方法の検討には、一般的な構造検討に加え、新たな桁かかり部の材質、形状、定着方法、現場条件を考慮した工法などの検討に相当の期間を要す**



(2) 検討に向けた課題

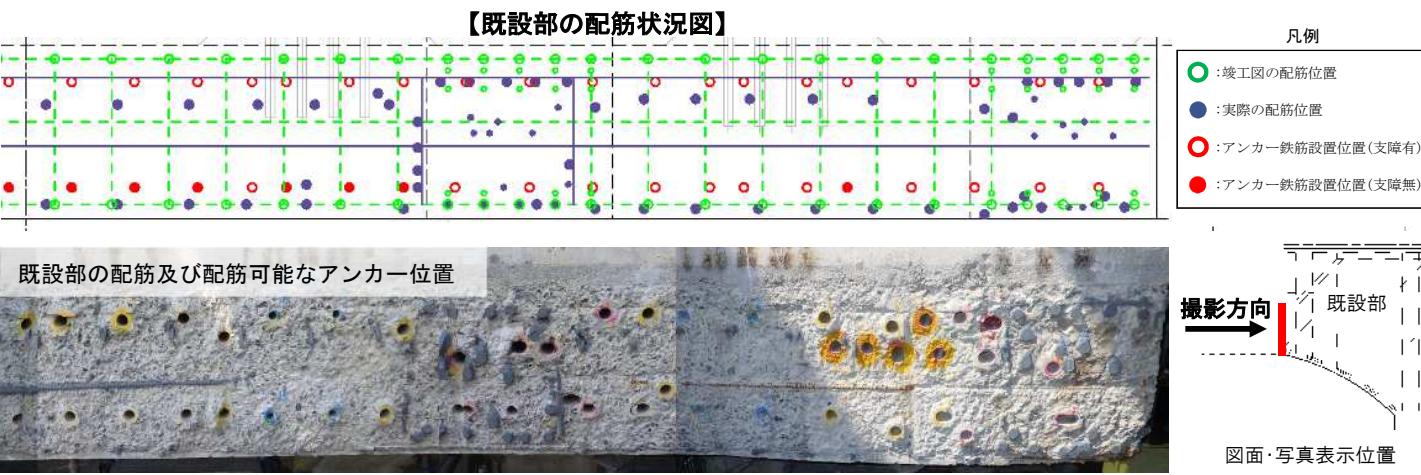
- **仮設の賃料として35百万円/月を支出している**
- ➔ **再施工の時期まで残置した場合、仮設費用が膨大となる**



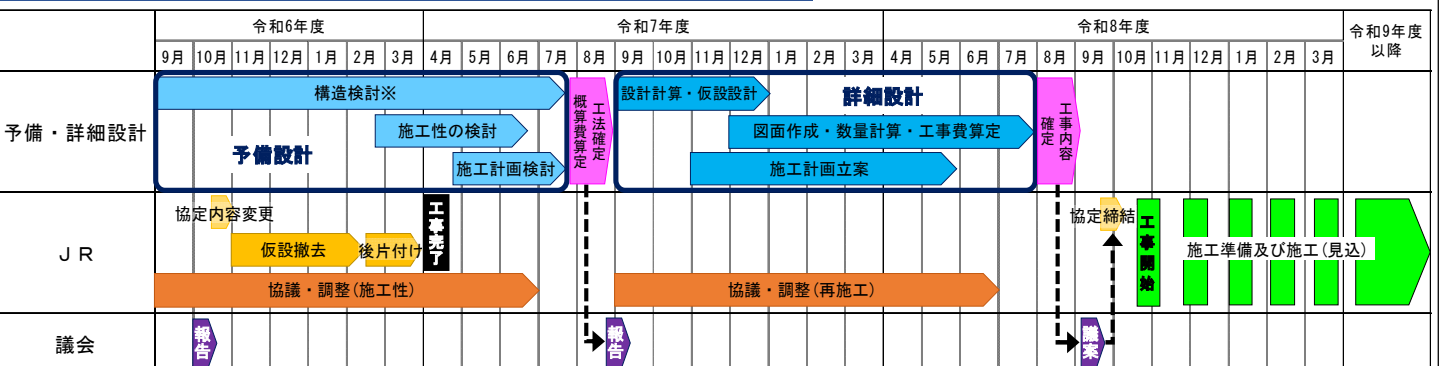
- ◆ **協定を施工済みの内容に変更し、仮設を撤去して工事を一旦完了する**
- ◆ **新たな施工方法等について詳細な検討を実施する**

2 桁かかり部改良(縁端拡幅)の状況について

- **令和6年3月末に既設部の配筋位置が竣工図と異なっていたため、アンカー鉄筋の多くが設計通りに設置できない(約80%)ことが判明した。そのことから、配筋可能な位置を選定し、6月に新たな配置で構造計算を行ったが、所定の応力が確保できなかった。**



4 今後のスケジュール



※構造検討：新たな桁かかり部の材質、形状、定着方法などの検討